

構想区域	名称	1.今後の方針			2.具体的な計画												②具体的な内容	③年次スケジュール
		①自施設の現状及び課題	②地域において今後担うべき役割	③今後持つべき病床機能	①4機能ごとの病床のあり方について						2025年度							
					病床数(平成29年度病床機能報告)						高度	急性期	回復期	慢性期	合計	介護施設		
高度	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	高度	急性期	回復期	慢性期	合計	介護施設							
伊勢志摩	医療法人全心会伊勢慶友病院	・施設・設備の老朽化。 ・高度急性期病院からの受入時に事前情報と現状に相違がある。	・高度急性期病院の後方支援。	・回復期リハビリテーション病床 ・医療療養病床	0	40	47	166	0	253	0	40	60	153	253	0	・地域ニーズに合わせ、回復期リハビリテーション病床を増床する。	・平成33年頃予定の新病院移転に合わせて。
伊勢志摩	豊和病院	・特殊疾患病棟30床、療養病床30床 ・常時、95%以上の入院となっている。	・難病の患者、在宅での生活が不可能で常時、医療的処置を必要とする患者が必要とする病院。	・現状と変化なし。	0	0	0	60	0	60	0	0	0	60	60	0		
伊勢志摩	田中病院	・基幹病院から転院してきた患者が、治療を終えた後の退院先が不足している。 ・維持透析患者の療養先がなく、入院が長期化している。 ・腎不全患者のシャント造設や、シャント閉塞時のPTAが自施設でできない。	・基幹病院と連携しながら、急性期治療を終えた患者の受入と回復期機能を担う。 ・急性期病院から入院のポストアキュート機能、在宅や介護施設から入院のサブアキュート機能を担う。 ・透析機能を担う。 ・在宅療養支援病院2として、在宅療養を支える機能を担う。	・地域包括ケア病棟機能	0	0	93	0	0	93	0	0	83	0	83	0		